

広報

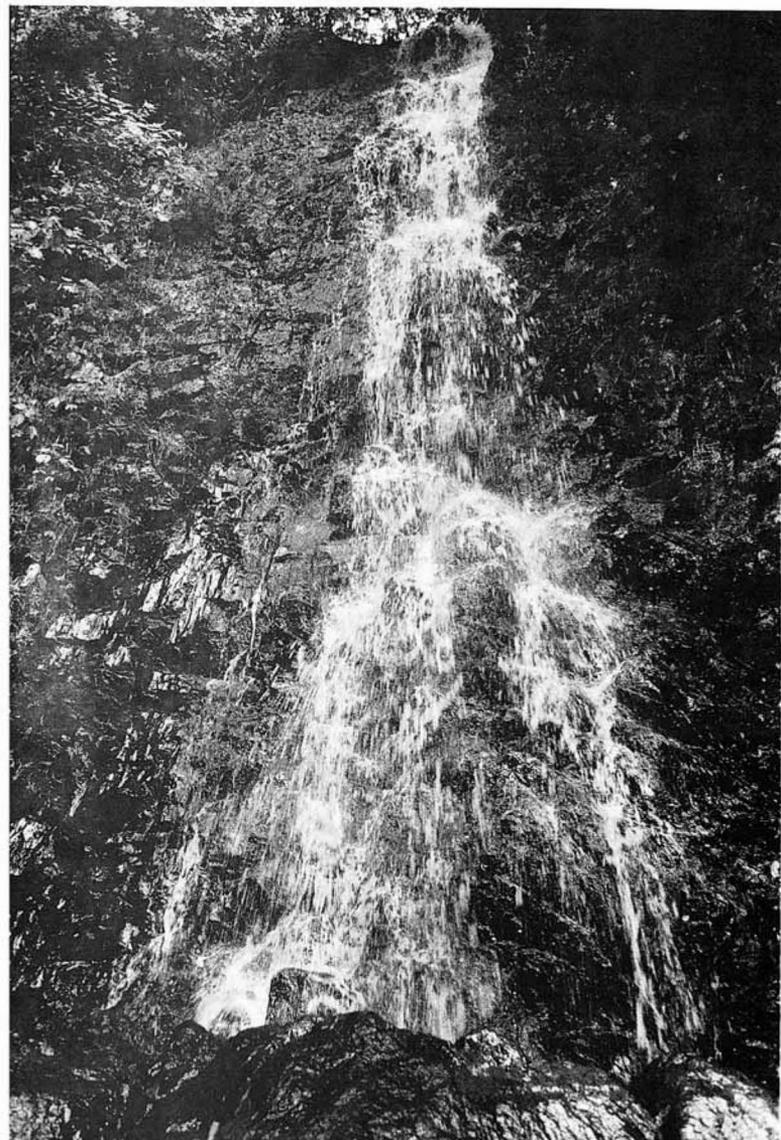
No.158

くま

昭和61年 8月15日

発行・編集 国見町企画課

* * * * * * *	県北中学校が完成.....	2~3
	台風10号豪雨直撃.....	4~5
	昭和60年度国保医療費の実態.....	6~7
	クリーンアップ作戦.....	8
	ふるさとの文化財.....	9
	おしらせ.....	10~11
	公民館だより.....	12~13
わだい.....	14	



すいぽうといんくにみ  
 // 涼 //

貝田不動滝

'86  
 8月



▲新 校 舎

昨年七月から改築工事が始まった東北中学校が七月十二日に完成し、七月十六日に引き渡し、引越しが行われました。  
鉄筋コンクリート三階建て、約五千平方メートルで、総工費約八億六千万円のデラックスな校舎です。  
教科指導と視聴覚的教育、共同学習の場など、多種にわたり活用できる「多目的スペース」が各階にあり、校舎西側には、レインボーカラーのステンドグラスを取り付け、生徒の夢をたくすなど、随所に工夫の跡がみられます。  
使用は七月十六日からで、生徒たちの使用感は、「校舎がとても明るい」「トイレが水洗でよい」「学年集会などに使いやすい」などおおむね良好。一方、「教室が狭い」「湿気が強い」などの、新校舎に慣れないための不満もありました。



▲引越しもたいへんです

# 東北中完成



▲今はない旧校舎



▲設備の整った放送室



▲教科センター的役割の多目的ホール



▲ちょっと休憩です



▲家庭科教室で



▲音楽教室で



①すっぱりと水につかった家屋（徳江二階間々） ②一夜明けて土砂に埋まった畑（川内地区内）  
 ③路肩のくずれた国道4号（貝田） ④土のうを積み上げ、決壊を防ぐ（徳江沼田地区内）

# 恐怖の一日

## 町の被害状況

8月13日現在

区	分	被	害
住宅被害	床上浸水	世帯	16
		人	79
非住宅	床下浸水	世帯	4
		人	10
田	その他	棟	20
畑	冠水	畝	22
文	冠水	畝	40,9
教	施設	箇所	1
道	路	箇所	18（うち林道7）
橋	りょう	箇所	1
河	川	箇所	9

区	分	被害額（千円）
公立	文教施設	375
農林	水産業施設	26,948
公共	土木施設	30,097
農産	被害	54,759
被害	総額	112,179

八月四日から五日にかけて、台風十号の影響で、町に記録的な大雨が降り、増水した阿武隈川の水が佐久間川などの中小河川を逆流し、床上浸水十六戸、床下浸水四戸、田畑の冠水六十二・九ヘクタールなど、被害総額一億千二百七十九千円（八月十三日現在）にものぼり、町に大きな被害を及ぼしました。特に、徳江前原地区では八戸全戸が孤立し、木舟やボートで食糧の調達を行うという、前代未聞の出来事となりました。

町では、五日午前七時に「台風十号による国見町災害対策本部」（本部長八島忠雄助役）を設置して、被害状況を調査し、り災世帯の救済に当たりました。

被害にあわれた皆さんには、心からお見舞い申し上げます。



▲食糧差し入れに思わず笑みが…… (徳江前原地区)

台風  
10号

# 豪雨直撃



▲不安げに水位を見守る (徳江前原地区)



▲みるみる水位が上がる瀧川 (川内地区)



▶食糧調達にボートを利用

# 医療費



国見町の支払額 5億4,893万円

一世帯当たり 30万円  
一人当たり 9万4,000円



## 昭和六十一年度の国保予算

昭和六十一年度の国民健康保険特別会計当初予算は、総額六億二千円、昨年度に比べ五・四%の伸びとなりました。国保人口の高齢化が進み受診率が高くなってきたことと、医療の高度化により医療費が高額化していることが、主なアップ要因となっています。

### 一人九万八千円の医療費

今年度の国保特別会計に占める医療費の割合は、歳出総額の九一%に当たる五億六千六百九十八万円、昨年度と比べ四・五%の増となっています。

これを目割りにすると、四千七百二十五万円の給付額となり、年間一世帯当たりでは約九万八千円になります。昨年度の給付実績は、一世帯当たり約三十万円（負担していた国保税は約十四万七千円）一人当たりでは約九万四千円（同じく国保税は約四万六千円）の医療費が使われました。

### 昭和61年度 国保税税率

区分	課税割合	税率
所得割	52	$\frac{3.95}{100}$ (0.0395)
資産割	8	$\frac{32.97}{100}$ (0.3297)
被保険者均等割	27	17,235円 (1人当たり)
世帯別平等割	13	26,999円 (1世帯当たり)

### ◆国保税算定例 (4人世帯の場合)

所得額	1,450,000円
課税標準額	1,190,000円
固定資産税	46,315円
I. 所得割	$\frac{3.95}{100}$ 47,005円
II. 資産割	$\frac{32.97}{100}$ 15,270円
III. 均等割 (1人)	17,235円 68,940円
IV. 平等割 (1世帯)	26,999円 26,999円
計	158,214円
国保税決定年税額	158,210円 ※最高限度額は37万円です

医療費の上昇は止めどなく、国保財政を非常に苦しいものにしていきます。一人ひとりが積極的に自らの健康づくりに取り組んで、疾病を予防し、早期発見に努め、そして適正な受診をされることにより、医療費の上昇をおさえることができます。みんなで医療費を大切に使いましょう。

### 国保税率 決まる

昭和六十一年度の国保税は、国保基金より三千万円を繰り入

### ※国保税

一世帯当たり 一五八、五九二円  
一人当たり 四九、五六一元

れし、極力、税の伸びを押さえ、前年度に比べ、二千三百六十九万円の増(率にして、八・九四%の伸び)、二億八千八百七十九万七千円が、本年度の国保税です。

# 年々上昇する

## 昭和60年度国保医療費の実態

最近、保険証を紛失する人が増えていきます。なくした理由のほとんどは、家の中での置き忘れ、しまい忘れです。

保険証の再交付は、原則として、保険証が破れたり、汚れたり、または外で失くしたときなどにするものです。保険証は大切に保管してください。

### 保険証を大切に



### 国保健康世帯

昭和六十年年度中、一度も診療を受けなかった健康世帯の表彰式が、八月七日役場で行われました。該当世帯は六十世帯もあり、この世帯に共通していることは、常に健康に対する自覚と、自分に適した健康法をもち実践しているということです。

一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」習慣を身につけたものです。

次に、表彰された健康世帯を二紹介します。

### 健康優良家庭紹介

- 九年連続家庭(二家庭)
  - ▽菅野秋雄(内谷東)
- 八年連続家庭(二家庭)
  - ▽吉田タカ(貝田)
- 七年連続家庭(二家庭)
  - ▽瀬戸幸一(中部)
- 六年連続家庭(三家庭)
  - ▽半澤幸祐(宮町南) ▽井砂みさを(宮町北) ▽引地幸一(駅前)
- 五年連続家庭(二家庭)
  - ▽松浦セツ(石母田原)
- 四年連続家庭(三家庭)
  - ▽大隈賢二(石母田原) ▽菅野マツエ(駅前) ▽小幡喜一(第三)
- 三年連続家庭(三家庭)
  - ▽大竹竹夫(本町) ▽長谷川サチ子(板橋) ▽桜澤栄子(高城)
- 二年連続家庭(十四家庭)
  - ▽安田正夫(町東) ▽角田正男(宮東) ▽大波一男(山崎館)

- ▽松浦信(滝山) ▽高橋茂(山崎館) ▽八島ソテ(山崎小館)
- ▽高橋源治(泉田中) ▽佐藤勝男(泉田中) ▽田中ハツ(第一)
- ▽佐野正光(第九) ▽上澤芳正(大木戸) ▽小林泰一(原町)
- ▽玉手豊(中部) ▽斎藤武男(川内)

- 一年家庭(三十三家庭)
  - ▽芳賀藤郎(駅前) ▽八巻惣一(大町南) ▽菊地あさ子(大町南) ▽秦長蔵(宮町北) ▽名和由利子(宮町北) ▽鴨田忠次郎(山崎館) ▽藤田常七(石母田東) ▽高橋千枝子(山崎館)
  - ▽佐久間健一(山崎館) ▽八島善明(滝山) ▽芳賀史郎(駅前) ▽佐藤次郎(山崎小館) ▽阿部ミヨ(源宗山東) ▽阿部満(源宗山西) ▽高橋ツキ(源宗山西) ▽高橋トキ(耕谷) ▽鴨田常雄(小坂) ▽野村伸一(板橋)
  - ▽赤坂儀一(泉田下) ▽佐久間正男(第一) ▽野崎アヤ(第十二) ▽実沢久三郎(第十二)
  - ▽佐藤アキ(貝田) ▽佐藤忠助(貝田) ▽長谷川芳男(貝田) ▽菊地正子(貝田) ▽佐藤定次(貝田) ▽松浦治(大木戸) ▽谷津正晴(浦根) ▽荒川一男(原町) ▽菊池憲克(中部) ▽瀬戸瑞夫(中部) ▽佐藤喜八(川内)

# クリーンアップ作戦

## 二千二百名の参加

去る七月十三日に実施されたクリーンアップ作戦は、各部落会の皆さん及び町内各土木業者の方々の積極的な参加で、大きな成果をあげることができました。

一部七月二十日実施の地域もありましたが、国見町全体で約二千二百名の参加があり、町内を流れる一級河川(普蔵川・滝川・上泉川・牛沢川)を中心に

として、空カン・廃ビニール・廃プラスチック・廃材などのゴミの回収及び雑木伐採・草刈りが行われました。

ちなみに回収されたゴミ類はダンブで十二台分、約七・三トンのほりました。日ごろから河川へのゴミなどの投げ捨ては絶対しないよう心がけ、きれいな川をいつまでも国見町に残したいものです。



▲滝川(山崎地区)で



▲普蔵川(泉田地区)で

### 献血ありがとうございました

七月二十九日協力者(敬称略)

(一般協力)

- |                 |             |                       |         |
|-----------------|-------------|-----------------------|---------|
| 小 武 曳 泰 横 本     | 阿 細 佐 佐 仲 横 | 古 斎 瀬 大 赤 佐 鴨 若 鴨 黒 熊 | 熊 坂 桂 子 |
| 春 田 地 清 武 横 本   | 部 川 久 藤 野 山 | 内 藤 本 内 坂 藤 林         | 田 田 子   |
| 功 光 子 水 仲 山 田   | 節 紀 間 藤 野 照 | 一 正 愛 内 一 正 弘 正       | 武 武 子   |
| 瀬 野 菅 奇 斎 松 佐   | 子 子 子 子 子 子 | 稲 尾 和 子               | 阿 部 澄 子 |
| 土 屋 次 野 野 藤 浦 朝 | 赤 井 畑 千 恵 子 | 清 一 夫                 | 高 野 喜 平 |
| 美 男 実 枝 子       |             |                       | 高 野 喜 平 |

- |                 |               |                 |                 |                 |                 |                 |                   |             |                 |                         |                 |         |         |           |                 |                 |                 |                   |                 |                 |                 |
|-----------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------|-----------------|-------------------------|-----------------|---------|---------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 阿 部 正 一 菊 地 弘 美 | 国 分 次 雄 野 由 功 | 遠 藤 喜 正 引 地 由 則 | 吉 田 吉 夫 小 藤 澄 雄 | 谷 津 真 男 後 藤 澄 雄 | 鈴 木 捷 治 佐 野 貞 治 | 鈴 木 真 男 菅 野 昭 雄 | 佐 久 間 正 孝 須 田 光 子 | 半 沢 豊 野 口 剛 | 黒 田 義 男 菅 野 昭 雄 | 泉 高 橋 富 美 子 清 遊 佐 真 紀 子 | 鈴 木 廣 茂 八 島 由 貴 | 岡 田 明 美 | 大 内 幸 子 | 松 浦 中 学 校 | 高 橋 豊 寿 佐 藤 京 子 | 渡 辺 三 男 高 橋 慎 二 | 氏 家 信 吉 大 橋 順 一 | 矢 目 富 士 子 丸 山 新 吉 | 我 妻 三 幸 片 平 忠 夫 | 斎 藤 光 幸 八 島 秀 悟 | 吉 田 千 鶴 子 丹 治 悟 |
|-----------------|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------|-----------------|-------------------------|-----------------|---------|---------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|

今年から四百cc献血が導入されるのと聞いていたので、今回四百cc献血に挑戦してみました。二百ccと全く同じです。献血については、若い人に、特に自主的に参加してほしいと思います。



大内 一郎さん  
泉田字源女53-4 39歳

家では保健委員をしているので、人には献血を勧めていますが、それだけではだめだと思い、自らやってみようとして今回初めて献血にきました。今までは恐くてやらなかったけれど、やってみると何でもなかったですよ。献血は身体のためにも良いのでは？



高野 恵子さん  
鳥取字中島14 54歳

ひとこと

- |               |                 |                   |                 |
|---------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 福 島 力 武 田 友 江 | 武 田 慶 子 菅 原 文 子 | 藤 田 恭 子 遠 藤 八 重 子 | 藤 田 陽 子 大 波 正 子 |
|---------------|-----------------|-------------------|-----------------|

# ふるさとの文化財

29

## 西根上堰

菊池利雄



伊達郡の阿武隈川西岸には、西根台地と呼ばれる平坦な地形の広がりが見られるが、西部山地より流れ出す瀧川・産ヶ沢川など、阿武隈川の支流群は流域が狭い上に、台地面を深く浸食しているため、灌漑用水には適しく、糸里水田造成後の古代末期から中世にかけての開発は、停滞気味に推移したとみられる。

近世のはじめ、信達両郡が米沢藩上杉氏の支配下に置かれた元和年間に、伊達郡西根郷の総肝煎であった佐藤新右衛門は、「伊達郡西根郷田代下村二ハ用水御座無候。多分粟稗之類而已植付ケ、田方少ク百姓共難儀致シ候。」と、速急な用水堀の開きくを願ひ出したため、米沢藩ではこれを許可し上げ藩直営の堰の水源となつたのは、信達郡との境を流れている、水量の豊かな摺上川に求め、元和四年(一六一八)に伊達奉行有栗持監と新右衛門が中心となつて、西根下堰が完成した。

西根上堰の開きくは、福島奉行古河善兵衛を普請奉行に佐藤新右衛門を添役として、寛永二年(一六二四)に起工されたが、取入口である湯ノ村(現坂町)の穴原付近は、岩盤がかたくて、工事となつたのははじめとし、芝堤・瀧川と交差する地獄樋や、膨大な工事人足の調達など、多くの人的、技術的な困難を克服し、九ヶ年の歳月を費やして寛永十年(一六三三)に完成をみている。水源と国見の湯ノ村より五十沢村まで、四ヶ村の村々を含めて堰下三十一ヶ村を数え、全長七里半(約十キロ)、灌漑面積は九百町歩(九百ヘクタール)におよんで

いる。

ついで西根上堰が国見の村々の開発におよぼした効果については概観してみよう。古代の律令政府によって西根台地上に大規模な造成をみた糸里水田は、中世にはいりと灌漑水の管理権が国家の手を離れて在地領主層に移行し、泉田・舞田・小坂など上流地の開田が進む反面、相対的に徳江・塚野目など下流地の糸里水田には灌漑水が達しなくなり荒廃がめだつてくる。(国見町史、本町)

これらの糸里遺構地の多くは西根上堰の開きくに伴ひ、水懸地にくみこまれて灌漑水の供給を受け、水田が復旧していった。一方、水懸地でない泉田・小坂など山沿い地についてみれば、徳江・塚野目など下流地の水田は、これまで主要な水源としていた玉川を西根堰に置き換えたため、これら上流地で使用できる灌漑水が増加し開田が進んでいった。このように西根上堰の水田開発の効果は、単に堰下の地のみならず堰上の地にもおよんだことが知られる。

西根上堰は現在においてもこの地域の稲作を支えている生きた施設であり、歴史的にも重要な史跡である。

参考文献 「国見町史」一・二巻

## 身近にある野草・薬草

26

### マタタビ



香があります。

果実は長さ4cmほどの先のつがった砲弾形で、熟すと黄色になり、かむとピリリとした辛みがあります。果実の中に虫が入ったものは、表面がデコボコになり虫こぶができます。

▼薬用▲

十月ごろ、虫こぶを採取し、必ずその日のうちに熱湯を注ぐか、なべでサツと沸騰させ、中の幼虫を殺したあと、日干しにします。

冷え症・利尿・強心・神経痛に木天蓼酒 乾燥した虫こぶ(木天蓼) 百グラムをホワイトリカー一七〇〜二〇〇mlに二〜六カ月漬けて一日朝夕二回に服用します。グラニュー糖百五十グラムを加えてもいいです。

猫の病気に 木天蓼の粉末をささにまぜて与えます。

▼食用▲

葉はやわらかい若々しいものを枝先からつみとります。花もつみとります。果実は完熟前がとりごろ。

料理 葉と花は多めに塩を入れて熱湯でゆで、水にさらして、おひたし、からしあえ、揚げなどに。ことに塩味をきかせた花の酢の物は、酒の肴に好適。

(山野草カラー百科から)

北海道、本州、四国、九州の山地に自生するつる性の落葉植物。雌雄別株。

夏、葉のつけ根からウメに似た純白の五弁花を下向きにつけるが、花の咲く時期に、葉の先が半分だけ白く変色する性質があり、遠方からでもよく目立ちます。花が終わると、いつの間にか白変は消えます。花には芳

九月十日「第二十六回全国下水道促進デー」



町職員(大学卒程度)を募集



昭和六十二年年度の国見町職員(大学卒程度)採用候補者試験を次により行います。

- 一、試験職種及び採用予定人員 一般事務 若干名
- 二、受験資格 昭和三十二年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれた者。(学歴は問いません)ただし、国見町に住所のない方は受験できません。
- 三、試験日の期日、場所 昭和六十一年十月五日(日)午前九時から受付 福島県自治会館
- 四、受験手続及び受付期間 (一)申込用紙は町役場で交付します。

①申込の方法

①申込用紙に必要事項を記入して町役場に提出してください。

②受験票を受領したときは、最近六ヶ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横四・五cm)一枚をはる

こと。

③受付期間

八月二日から八月三十日まで。

※高校卒程度の採用候補者試験については別途行う予定です。なお、詳しいことについては、役場総務課☎八五二二一におたずねください。

ジパンゲ倶楽部 会員募集



入会資格

女性六十歳以上、男性六十五歳以上となたでも。夫婦会員の場合どちらかが六十五歳以上であれば会員になれます。

会費

三千六百元。夫婦会員の場合お二人で六千円。

特典

①国鉄の運賃・料金が二割から三割引になります。

②日親連加盟旅館・ホテルからはほのぼのプレゼントがあります。

③会員誌「ジパンゲ」が毎月郵送されます。

入会方法

もよりの駅か旅行センターにおたずねください。

狩猟免許試験の実施について



一、受付期間

八月二十日～九月十日

郵送による申請は、受付締切日の消印のあるものまで受け付けます。

二、試験期日、会場

昭和六十一年十月二日 郡山市労働福祉会館

三、受験手続

(一)提出書類

- ①狩猟免許申請書 一部
- ②受験票 一枚(あて先を明記して、四十円切手をはってください)
- ③写真 一枚(申請前六ヶ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景

道路はだれのもの?



わたしたちが使う、貴重な財産です。広く、美しく、安全にご利用しましょう。

八月は道路をまもる月間!

の縦三・六cm、横二・四cmの写真で、その裏面に氏名及び撮影年月日を記入したもの)

④医師の診断書 一部

※詳しいことは、福島林業事務所(☎二二二二一)内線二三三三(一)までおたずねください。

屋外広告物のルール



最近、屋外広告物の無秩序な表示・掲出が目立つことから、自然に恵まれた美しい県土を守るため、このほど、新しい屋外広告物条例が制定され、昭和六十一年八月一日から施行されました。

許可申請

はり紙・はり札・立看板などを屋外に掲出する場合は、建設(土木)事務所への屋外広告物許可申請が必要となります。

掲出場所

広告物の掲出は民地を利用していただくこととなりますので、電柱・橋・街路樹などに表示・掲出はできません。

※問い合わせは福島建設事務所(二二二二一)か保原土木事務所(七五二二一)まで。

# 善意の窓

町社会福祉協議会に

◆五十嵐力さん(大坂)から  
二万円―故蔵之助さんのご遺志

◆八島富蔵さん(山崎北)から  
三万円―故セツさんのご遺志

◆国見町理容・美容観摩会から  
一万円

◆朽木貴之さん(前田)から  
二千元―拾得金謝礼の寄付

◆藤田小学校に

◆五十嵐力さん(大坂)から  
二万円―故蔵之助さんのご遺志

◆山田円吉さん(大町南)から  
湿布葉百枚

◆杉崎廉吉さん(宮町北)から  
理科実験用ガラス器具多数

◆第一藤田長寿会婦人部から  
雑布八十枚

◆小坂小学校に

◆榮寿会第一婦人部から  
雑布六十九枚

◆榮寿会第二婦人部から  
雑布三十三枚

◆鳥取寿会婦人部から  
雑布三十枚

◆内容寿会婦人部から

◆古内富さん(前田)から  
一万円

◆大木戸小学校に

◆阿津賀志第一寿会婦人部から  
雑布七十枚

◆阿津賀志第二寿会婦人部から  
雑布四十五枚

◆阿津賀志第三寿会婦人部から  
雑布九十二枚

◆東北九上―北中内北―  
宮大町田第一江田山

◆五十嵐力さん(大坂)から  
二万円―故蔵之助さんのご遺志

◆根北中根坂根  
山崎田山大山

## 戸籍の窓口

(7月受付分)

出生おめでとうございます

子	名	保護者	部	落
達	哉(たつや)	吉田清	宮大町	東北九上
潤	(じゅん)	古川栄一	田田	北中内北
祐	子(ゆうこ)	蓬田吉夫	泉第	江田山
真	紀(まき)	安孫子孝由	第	田
碧	(みどり)	佐久間守	徳	北中内北
香	菜(かな)	渡辺一郎	泉	江田山
和	香子(わかか)	大内一郎	川	田
綾	佳(あやか)	鈴木章	源	山
祐	輔(ゆうすけ)	鴨田忠茂	第	田
圭	二(けいじろう)	穴戸		

ご結婚おめでとうございます

氏名	部	落
星徳弘	田田	川上
関口良江	泉	田

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部	落
高橋多代	57	山崎	根北中根坂根
八島多ツ	58	田	
梅谷長一	69	山	
菊池久志	74	山	
五十嵐蔵之助	82	大山	
村上チヨ	70		

## 人口と世帯

8月1日現在(前月比)7月中のうごき

男	5,793人 (-5)	転入	8人
女	6,193人 (-2)	転出	19人
口計	11,986人 (-7)	出生	10人
世帯数	2,886戸 (+1)	死亡	6人

## 今月の納税

八月は、国保税(第二期) 町県民税(第二期)の納入の月です。納期限内(八月末日まで)に完納しましょう。

## 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)  
時間：9時～12時  
こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。  
〔相談員〕  
8月25日(月) 佐久間 巖・長谷川ケン  
9月5日(金) 樋口 弘・阿部 キク  
9月13日(土) 菊地 平助・玉手マルヨ

「子に贈る大きな遺産下水道」

「下水道で住みよい環境づくり」

# 思い出 キャンプ研修会



▲食器洗いも協力して



▲自分たちで作った料理は最高!!



国見町公民館  
☎85-2676  
(有) 4156

六月に開講した「少年仲間づくり教室」の、最大のメインであるキャンプ研修会が、七月二十六日から二十八日までの三泊三日にわたって、霊山子供の村キャンプ場で行われました。

このキャンプ研修会には、教室生六十二名が参加しました。

第一日は、公民館を九時半にバスで出発、子供の村には十時半に到着しました。早速テント設置、続いて昼食の準備と、休む暇もない忙しさでした。

午後は、班活動、そして夕食のカレーライス、野菜サラダの炊事です。慣れない手つきでし

たが、お互いに助け合いながらの作業、ひとときわにぎやかでした。

夕食後、夕べのつどいとキャンプソングの練習をし、十時に就寝しました。

二日は六時に起床、朝食後おにぎりを作って、九時半に霊山登山に出発しました。阿武隈山系・吾妻山系を一望できる宝寿台で小休憩をとりました。ふもとから直立にそそり立つ絶壁およそ七十メートル、子供たちには眼前に広がる景観と、点状する岩と木木とのコントラスト

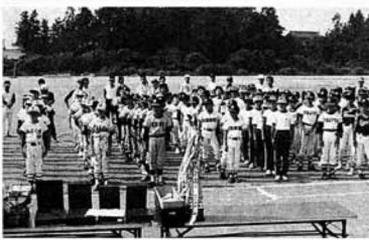


▲さわやかな空気を吸いながらラジオ体操

## 町東Aチームが優勝 第七回少年ソフトボール大会

第七回少年ソフトボール大会が、七月三十一日午前八時三十分から山崎運動場で行われ、町東Aチームが優勝しました。

この大会は、ソフトボール大会を通し、スポーツ活動の振興と、心身ともに健全な少年を育成することを目的とした、町教育委員会の主催で、同一小学校の四年生から六年生までの男女児童で編成した、十五チームが出場しました。



▲15チームが参加した少年ソフトボール大会

開会式で大会長の蓬田教育長、来賓を代表して、森江野小学校大和校長先生の激励のあと試合

六月二十四日から週二回、火曜日と木曜日の午前九時三十分から約二時間、十回コースで婦人の初心者を対象にした水泳教室を開講しました。参加者は十五名で七月二十四日に終了しました。

プールに入ること、水泳をすることが初めて」という人たちが多いため顔を水につけることから始まり、ビート板、ヘルパーを使用したの練習を繰り返して行いました。期間中は天候にあまり恵まれませんでした。冷たい水の中で子供のように元気に水しぶきをあげていました。

## 婦人水泳教室 終える

を開始しました。

真夏の太陽の下、チビッ子選手たちは、お父さん、お母さんの応援をうけて、元気にプレーを続け夏休みの一日を楽しく過ごしました。

決勝戦では昨年度まで三連覇の小坂スパークスAと町東Aが対戦、町東Aが7対4で優勝しました。成績は次のとおりです。

優勝 町東Aチーム  
準優勝 小坂スパークスA  
第三位 耕 谷  
# # 小坂スパークスB

# 夏休みの 少年仲間づくり教室



▲国司沢で一休み

の妙を楽しむことができ、疲れを忘れさせてくれました。休憩後、よく整備された登山道を進み、国司沢を通り、目的地である霊山城跡に十一時に到着、班ごとに輪になって、楽しく昼食をとりました。

その後、霊山の最高峰である東物見台（海拔八二三・五メートル）などを海抜、午後三時に子供の村に帰りました。往復五キロメートル、約三時間の登山コースを全員が完歩しました。夕食後、いよいよキャンプファイヤーです。「遠き山に日は落ちて」の歌が始まり、キャンプバーによる献詞のあと、いげた



▲心に残ったキャンプファイヤー

に点火。各班ごとのスタンツやダンスなど大いに楽しみました。このキャンプファイヤーの高く燃え上がる赤い火を見つめて、友情や感謝、反省の心とともに深い思索の淵に沈むよい機会を得たことと思います。

このキャンプ研修会を通し、教室生は、自然の美しさ、多くの仲間とのふれあいなど、数多くの経験をし、夏休みのよき思い出となったことでしょう。最後に、この研修会に参加し、ご指導いただいた「サークルばけつ」の会員の皆さんに感謝申し上げます。

**伊達地方スポーツ大会  
代表に  
貝田チーム（ソフト）**

伊達地方スポーツ大会、ソフトボールの部町予選大会が町体育協会、公民館主催で、七月二十七日午前八時三十分から町民



▲慣れた手つきで料理づくり

## 四季折々の味を 食卓に

### 料理教室開講

本年度の料理教室がこのほど、三十五名の学級生により開講いたしました。

学級生は来年三月まで九回にわたり、四季折々の料理を実習することになります。

健康で心豊かな住みよい町づくりに寄与されることでしょう。



▲完成した案内板

## 案内板がお目見え

このほど、勤労者体育センター、テニスコート、町民プール入口に、案内板ができあがりました。

- なお成績は次のとおり
- 優勝 貝田チーム
  - 準優勝 耕谷クラブ
  - 第三位 滝川クラブ
  - 源宗山クラブ

伊達スポーツ大会にてのご健闘を期待します。

九月七日に川俣町で開かれる伊達スポーツ大会にてのご健闘を期待します。

運動場で十五チームが参加して行われました。開会式では大会長の佐藤元一体育協会長、来賓の蓬田教育長のあいさつのあと試合開始となりました。

各選手たちは、猛暑の中でありましたが、代表権獲得のため熱戦を繰り広げました。その結果昨年度に続いて貝田チームが優勝しました。

わだ い



### 伊達地方町議会 議員大会開かる

第三十五回伊達地方町議会議員大会が、七月二十三日午前九時から国見勤労者体育センターで開かれました。

大会には、伊達郡九町の各議会議員や関係者など、二百六十人が出席しました。大会に先立ち、福島民報社の佐藤謙寿取締役



▲盛大に行われた伊達地方町議会議員大会

論説委員会幹事が「自民大勝と政治の面白さ」と題して講演を行いました。

大会では、会長の山川角蔵桑折町議会議長のあいさつと、菊地政治町長らが祝辞を述べました。続いて議事に入り、各町から提案された「下水道事業の国庫補助率の復元及び国庫補助率範囲の拡大について」（国見町議会提出、吉田久男建設水道常任委員長提案理由説明）などを審議、関係機関に要望していくことを決めました。

このあと、大会宣言を決議、また、町村財政の確立を期するなど八項目を決議しました。

### 国見町に進出

——マープル・ニット工場——

去る七月二十四日、小坂前地内工業団地で、町誘致企業の株式会社マープル・ニット工場の地鎮祭が行われました。

この日はうっとうしかった梅雨空も、からりと晴れ上がり、絶好の日和りに恵まれ、三吉神社宮司の祝詞に続いて、菊池マールニット社長が力強い掛け声とともに地鎮の儀式を行いました。

続いて菊地政治町長から、私

が町長になって初めての誘致企業である、マープル・ニット工場の益々の発展を祈ります」とあいさつがあり、無事地鎮祭を終えました。

この工場は、東京江戸川区にある工場が狭くなったので、国見町に進出することになったものです。主にシャツ・ブラウスなどの縫製を行う工場で、従業員は四十人位で操業の見込みです。



▲小坂前地内工業団地で行われた地鎮祭

### さわやか

ミスビーチ

福島のモモを全国にPRする'86ミスビーチが、七月二十四日、そろいのワンピースに身をつつ

み、役場を訪問しました。

今年で二十四代目になるミスビーチ十八人のうちの四人で、それぞれが、「新鮮であまくおいしい福島のモモを全国にPRします」と語り、職員から盛大な拍手を受けていました。

なお、お盆ころ帰省客でにぎわう東北自動車道国見サービスエリアでも、ミスビーチが活躍します。



▲そろいのワンピースに身をつつんだ4人の美女たち

### 町職員の人事異動

異動および昇格

▽建設課管理係長（企画課企画係長） 小野智義 ▽企画課国土調査係長（建設課管理係長） 八島英雄 ▽企画課企画係長（税務課賦課係） 武田幹夫

### 編集日記

▽八月五日、徳江前原地区が台風十号による大雨で洪水となり孤立しているとの連絡が入り、早速でかけました。雨が降り続き、水かさも増しているとのこと。地元のお年寄りの方に伺っても、「今何のような大雨で洪水は生まれて初めて」と、増水する泥水を不安げに見守っていました。

▽午前十時すぎ、増水した阿武隈川と瀧川の水位が上がり、いまにも堤防を越しそうになり、川内地区に避難命令が出されました。家財道具を手を避難場所まで急ぐ地区の人たち。どうにか浸水はまぬがれたものの、不安な一日だったことと思います。

▽前原地区では、木舟やボートを使って食糧の調達を行うとのことなので、私も木舟にのせてもらいました。道路や田、畑はすっぽりと水の中。短時間での増水のため、家財道具の大半は水につかり食事もとれずじまい。全員二階に避難し、その顔は、あまりの洪水にあきれ顔といったところでした。

▽被害にあわれた皆さんに心からお見舞い申し上げますとともに、この経験をお忘れず、今後の教訓としていこうではありませんか。S